

サプリメントに頼らない生活



薬剤師 藤竿伊知郎 (外苑企画商事)

「日本クロレラ療法研究会」が、肺気腫や糖尿病、前立腺がんなどの改

会社は控訴しましたが、研究会を隠れ蓑にした脱法商法に初めてメスが入られました。

「日本クロレラ療法研究会」が、肺気腫や糖尿病、前立腺がんなどの改



「日本クロレラ療法研究会」が、肺気腫や糖尿病、前立腺がんなどの改

会社は控訴しましたが、研究会を隠れ蓑にした脱法商法に初めてメスが入られました。

「日本クロレラ療法研究会」が、肺気腫や糖尿病、前立腺がんなどの改

(11) クロレラの「体験談 商法」に差止命令

骨はもとに戻らない

となく徐々に進行していき、最終的に骨が全て溶け、歯が抜けてしまいます。歯周病は悪くなる

1月21日、京都市の消費者団体が、「サン・クロレラ販売」に広告表示の差し止め等を求めた訴訟で、京都地裁は画期的判断を下しました。「医薬品として承認を受けていない商品を医薬品的な効果があると表示しており、医薬品との誤認を引き起こす恐れがある」とし、差し止めを命じました。

善に効果があったという体験談を記載した、新聞折り込みチラシを配布していました。チラシの連絡先に電話すると、1年間は飲まなければならぬといいつつ、数十万円分も高齢者に売りつけることが問題となりました。

つ人や高齢者を対象として販売しているため、経済的被害だけでなく健康被害も多発しています。クロレラは、国民生活センターに寄せられる健康被害報告で1980年代から上位を占めてきました。発疹などの光過敏症が問題になりました。他に、下痢・吐き気から肝機能障害まで副作用報告は沢山あります。

今年2月に大手ドラッグチェーンの薬局で大量の薬剤服用履歴(薬歴簿)が未記載のまま一薬剤服用履歴管理指導致料」を不正請求していた問題が相次いで報道され、国民の皆様に不信感をもたらせてしまいました。

今年2月に大手ドラッグチェーンの薬局で大量の薬剤服用履歴(薬歴簿)が未記載のまま一薬剤服用履歴管理指導致料」を不正請求していた問題が相次いで報道され、国民の皆様に不信感をもたらせてしまいました。

今年2月に大手ドラッグチェーンの薬局で大量の薬剤服用履歴(薬歴簿)が未記載のまま一薬剤服用履歴管理指導致料」を不正請求していた問題が相次いで報道され、国民の皆様に不信感をもたらせてしまいました。

今年2月に大手ドラッグチェーンの薬局で大量の薬剤服用履歴(薬歴簿)が未記載のまま一薬剤服用履歴管理指導致料」を不正請求していた問題が相次いで報道され、国民の皆様に不信感をもたらせてしまいました。

今年2月に大手ドラッグチェーンの薬局で大量の薬剤服用履歴(薬歴簿)が未記載のまま一薬剤服用履歴管理指導致料」を不正請求していた問題が相次いで報道され、国民の皆様に不信感をもたらせてしまいました。



歯科医師 柳田健一 (代々木歯科)

歯周病(歯槽膿漏)

静かに病は進行している? -その25-

歯周病



その他の原因も

他にも歯ぎしり、食いしばり、かみしめ、不適合なかぶせ物や入れ歯、不規則な食生活、喫煙、ストレス、全身疾患(糖尿病、骨粗鬆症、ホルモン

歯周病チェック

①朝起きた時、口の中がネバネバする。②歯ブラシの時に出血する。③口臭が気になる。④歯茎がむずがゆい。⑤歯茎が赤く腫れている。⑥かたい物が噛みにくい。⑦歯が長くなった気がする。⑧前歯が出っ歯になった。歯と歯の間に

今年2月に大手ドラッグチェーンの薬局で大量の薬剤服用履歴(薬歴簿)が未記載のまま一薬剤服用履歴管理指導致料」を不正請求していた問題が相次いで報道され、国民の皆様に不信感をもたらせてしまいました。

今年2月に大手ドラッグチェーンの薬局で大量の薬剤服用履歴(薬歴簿)が未記載のまま一薬剤服用履歴管理指導致料」を不正請求していた問題が相次いで報道され、国民の皆様に不信感をもたらせてしまいました。

東葛病院 建て替えニュース No.8

医療、歯科、薬局がまとまることで利便性向上

3月上旬には6階の梁工事直前まで建設が進み、3月末には7階へ伸びる柱にとりかかる予定です。一方、3月11日には現在の東葛病院がある周辺の下花輪、三輪野山、加地域の住民への説明会が開かれました。現在の付属診療所や駐車場の移転後の扱いに関する質問などが和やかな雰囲気の中で出されました。



今年2月に大手ドラッグチェーンの薬局で大量の薬剤服用履歴(薬歴簿)が未記載のまま一薬剤服用履歴管理指導致料」を不正請求していた問題が相次いで報道され、国民の皆様に不信感をもたらせてしまいました。

今年2月に大手ドラッグチェーンの薬局で大量の薬剤服用履歴(薬歴簿)が未記載のまま一薬剤服用履歴管理指導致料」を不正請求していた問題が相次いで報道され、国民の皆様に不信感をもたらせてしまいました。

今年2月に大手ドラッグチェーンの薬局で大量の薬剤服用履歴(薬歴簿)が未記載のまま一薬剤服用履歴管理指導致料」を不正請求していた問題が相次いで報道され、国民の皆様に不信感をもたらせてしまいました。

くすりの話あれこれ 103

医療安全のために「薬歴簿」、「お薬説明書」や「お薬手帳」などを活用

西村清志 (薬剤師・たくみ外苑薬局)



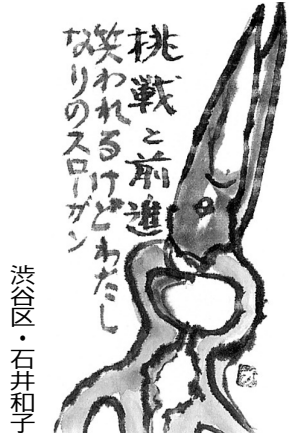
に振り返り、薬歴簿を適切に作成し、より充実させ、患者さんに役立たせていくことが信頼回復に向けての道ではないかと思えます。

薬局では、患者さんに、医療安全向上、医薬品の適正使用のため、お伺いさせていただくことがありますので、ご協力をお願い致します。

他の薬局あるいは病院・診療所で受け取ったお薬について、お薬説明書やお薬手帳を持参のうえお知らせください。

病院・診療所の外来での注射薬(がん化学療法、慢性肝炎でのインターフェロンや肝機能改善薬、統合失調症の治療薬など)、血液検査の検査値(注)、使用している一般医薬品や健康食品などについてもお知らせください。

(注) 現在、全国の一部の大病院や公立病院などでは、薬局との医療連携、医療安全向上、医薬品の適正使用のため、院外処方せんに血液検査の一部の検査値を記載する時代になっています。



渋谷区・石井和子